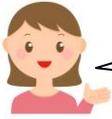




今回のテーマ

人口は、どうして減るの？ ～広報こもろ5月号 号外～

日本、そして小諸市の人口は、これから急速に減っていくという予測が出ています。それではどうして、人口は減るのでしょうか？



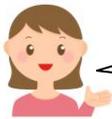
人口が減るのには、2つの要因があります。

出生数<死亡数（自然減）

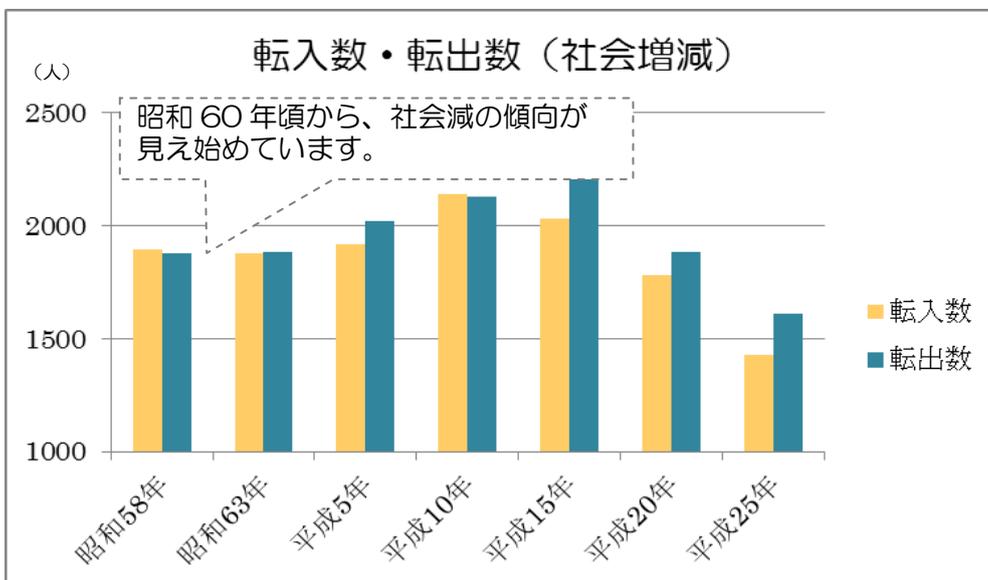
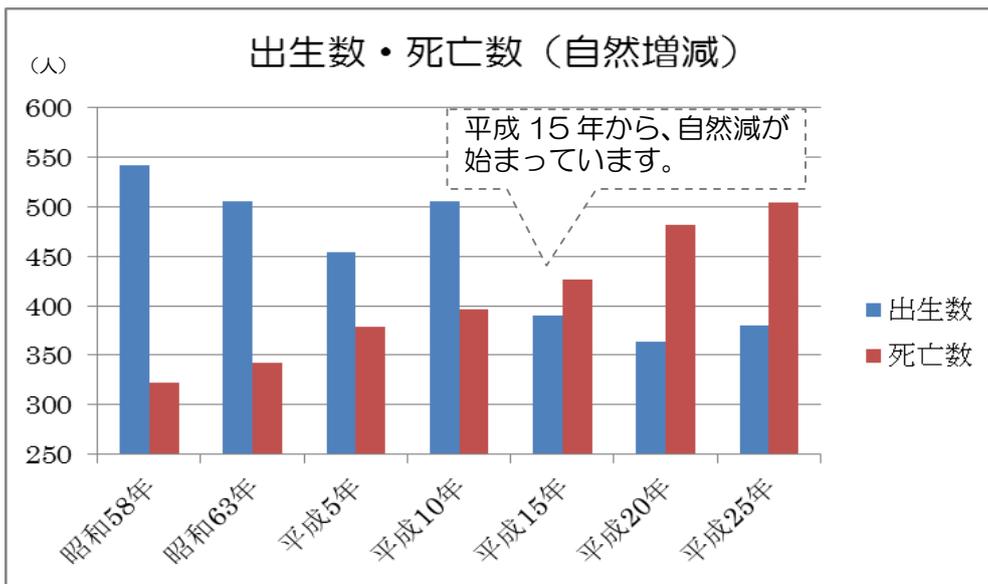
生まれた赤ちゃんよりも、亡くなった人のほうが多くなること。人間の生死は自然に起こることなので、“自然減”とも言います。

転入数<転出数（社会減）

引っ越してくる人よりも、引っ越して出ていく人のほうが多くなること。転勤・進学・自分の意思による引越しなど、社会的な活動によることなので、“社会減”とも言います。

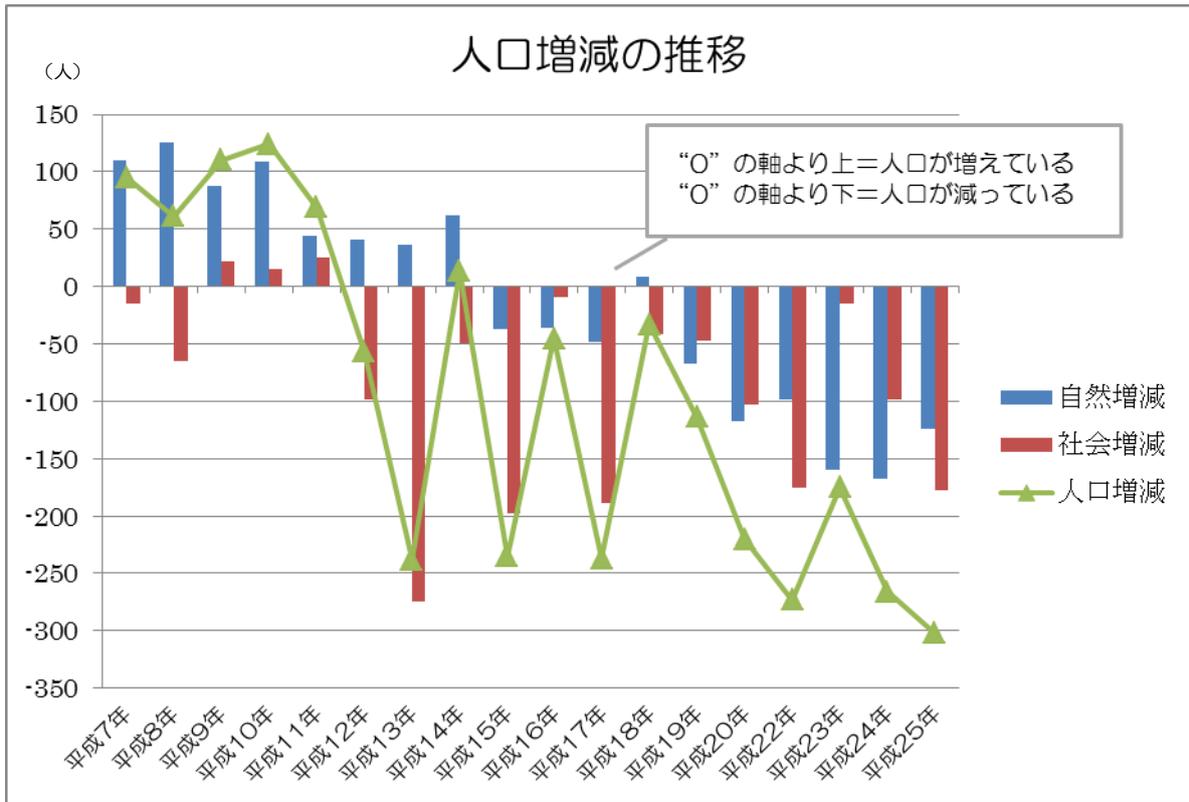


この要因ごとに、どのくらい増えたり減ったりしているか見てみましょう。





人口が減少し始めた頃からの増減を、グラフで見てみましょう。



『統計小諸』の数値を基にしています。



このように、小諸市では自然減・社会減ともに10年以上前から始まっています。
(人口増減のExcelデータも公開しています)

“自然減”を食い止めたり、ゆるやかにしたりするには…

生まれる子どもの数が増えることです。

結婚したい人が結婚できる、子どもを産みたい人が安心して産めるようになることが必要です。

“社会減”を食い止めたり、ゆるやかにしたりするには…

小諸市に住み続けたい人、移り住みたい人、学んだり働いたりできる人が増えることが必要です。

◇これらのことを実現するためには…

小諸市の人口がなぜ・どのくらい減っているのか分析し、将来の人口を予測し、それにもとづいた戦略を立てて実行することが必要です。

国が約20年間少子化対策に取り組んでいるにもかかわらず大きな成果が見られないことから分かるように、人口減少対策はとても難しい問題です。

でも、たくさんの子どもが生まれるまち、たくさんの人が住みたいと思うまちは、いま小諸市に暮らしている私たちにとっても暮らしやすいまちです。

暮らしやすく元気なまちをつくるのが、小諸市の人口減少対策にもつながっていくんですね。

